

第39回日本語教育学講座講演会

平成26年度国際言語文化研究科教育研究プロジェクト

日本語のテンス・アスペクト形式を記述する
ーている、ていた、たー

講師：庵功雄先生（一橋大学教授）

◆講演内容◆

テンス・アスペクトは日本語学の中で研究の蓄積が非常に多い分野で、一定の「結論」が出ているように見えます。しかし、日本語学習者への説明（日本語教育文法）という観点からその「結論」を見直してみると、不十分である点がいくつも出てきます。本講演では、「ている、ていた、た」という3つの形式の（主節末での）全用法を記述することを通して、テンス・アスペクト形式についての新しい見方を提示したいと思います。

（参考文献）庵 功雄・清水佳子(2003)『上級日本語文法演習 時間を表す表現』スリーエーネットワーク

日時：2014年12月21日（日）13:00－14:30

場所：全学教育棟4階406号室

交通案内：地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車1番出口より徒歩5分

入場無料・申込不要

問い合わせ先：稲垣俊史 (inagaki@lang.nagoya-u.ac.jp)